

1 施設概要
(1) 基本的事項

(2) 施設の政策的な特性に係る事項	
施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	☐ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

実施結果
 コロナの5類感染症移行後も、引き続き感染を懸念される利用者が多い中、利用者増加に向け、図書館運営を積極的にし、利用者にとって利用しやすい図書館運営を行っている。季節に応じた図書の特集を始め、子ども向けの楽しい行事を実施したりと、目標として定めた貸出冊数や来館人数の目標に近づこうと日々努力をしている。

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している ○目標を(概ね)達成した △目標未達(事情あり) ×目標未達(事情なし)

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

依然としてコロナ感染を懸念される利用者にも配慮しつつ、全ての利用者が安心かつ快適に図書館が利用できるよう図書館運営を行っていく。利用者のニーズを汲み取り、一人ひとり丁寧な対応を心掛ける。地域との連携を十分に取らねばならない図書館運営を行う。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

● 今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

● 物品を購入する際には、環境物品等の調達に関する基本方針に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること（グリーン購入）を検討する。また、不要な電気の消灯、適切な空調管理、マイボルの持参に努める。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

收入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	104,690,000	107,373,596	2,683,596	人件費	72,000,000	75,043,262	-3,043,262
				光熱水費	6,500,000	7,462,010	-962,010
				修繕費等	8,248,000	6,430,662	1,817,338
				施設維持管理運営費	17,942,000	18,437,662	-495,662
収入計	104,690,000	107,373,596	2,683,596	支出計	104,690,000	107,373,596	-2,683,596

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

四	指標	北国図書館のカウンター職員の対応として「満足」「まあ満足」と答えた割合(利用者アンケート)					
	表の期間	D4	D5	D6	D7	D8	達成状況の評価

[illegible]

施設の経営状況

収入及びその相対報目、支出時の報目	連結・相対が適当	適正
指定簿理者自身の経営状況は健全か		適正

危機管理一事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているが

災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
----------------------------------	----

履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

選定時の提案内容が実施されているか	適正
-------------------	----

	関係性の構築
--	--------

ており、細かな事務でも、不明点はすぐ連絡して相談できる体制も構築できている。令和5年1月に図書館システム更新を実施したが、混乱が起きないように互いに補完し合いながら運営できている。

[illegible]

新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、2階学習室(青少年室)の座席数を段階的にコロナ前の状態に戻して、学習室前のアールホールコーナーでは、図書館貸出利用者の少ないV世代に向けて、月替わりで展示を実施しており定止を止める利用者也増えている。システム改修後、館内OPACや書架等に必要な掲示物も追加した。また、各フロアの館内図も刷新している。光熱費については、昨年度に引き続き厳しい状況で、修繕費を抑えながら管理を行っている。

図書館事業の実施など、積極的に行っているところは評価できる。電子図書館の普及や、これまでのコロナ禍の影響等も考えられるが、昨年に続き、来館者数や貸出冊数などが目標を下回っているのが、好評いただいている既存の事業に加え、引き続き新しい取り組みを実施し、さらに幅広い世代の利用に繋がるようにしていきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）
物価や人件費の上昇に加え、施設の老朽化による修繕に追われる厳しい状況下であるが、日々多くの来館者が訪れる施設であるため、今後も既存の利用者に快適な空間とサービスを維持しつつ、新たな利用者開拓に向けた事業の実施とサービス向上に努め、引き続き市民に親しまれる図書館運営を行っていく。